

マレーシアで 日本語教師資格を取得しよう♪



ATOZ ランゲージセンター
西尾 亜希子

日本語教師とは？



【正しい助詞を入れてください】

昔々 あるところに おじいさんと おばあさん () 住んでいました。
おじいさん () 山へ芝刈りに おばあさん () 川へ洗濯に行きました。

日本語母語話者→

正しい助詞が入れられる

日本語教師→

なぜ「は」なのか、なぜ「が」なのかが説明できる

日本語教師の需要

① 留学生への日本語教育

→日本留学を希望する外国人 = 増加傾向

(理由はIT産業の発達、治安の良さ、文化や国民性、季節、アニメや旅行がきっかけなど)



② 労働力としての外国人の受け入れ

→超高齢化、少子化に伴う労働力として外国人の必要性

(本人だけでなく、その家族に対する日本語教育も)

③ 海外進出した日系企業内での日本語教育

→社内コミュニケーションを円滑にする、日本文化を理解し愛社精神を育む、福利厚生の一環

④ 海外移住した日本人の子どもたちへの継承語教育

日本語教師の資格とは

下記のうち1つを満たすこと

- ① 大学の主専攻または副専攻コースを修了すること
- ② 日本語教育能力検定試験に合格すること
- ③ 文化庁認定、日本語教師養成講座（420時間）を修了すること

**→2021年10月よりATOZランゲージセンターで③が受講できることになりました
（海外では世界初！）**

※日本でも世界でも使える資格です



こんな方に向いています

① 駐在員の配偶者としてマレーシアに帯同された方

- 赴任中はビザがないため働けないが、その間に何か手に職を付けたい！
- なかなかマレーシア人と交流する機会がない・・・
- ローカルの友人に日本語について質問されたが答えられなかった
- この先も海外勤務が続きそう、どこでも活かせるスキルを身に着けたい

② 社内で日本語を教える必要がある方

- 日本語教師をアウトソース<自社に担当を置く (経費削減)
- ローカルスタッフとの距離を縮める

③ 今の仕事+α なにか！と考える方

- ボランティアやオンライン日本語教師として社会とかかわる
- 定年退職後の可能性の一つとして



日本語教師の魅力

✓ 純粹に楽しい

いろいろな人と出会え、自分や日本を見直すことができる。学びが多い

✓ 学習者の日本語の上達

✓ 日本語学習を通じて羽ばたいていく場面に立ち会える



※お問い合わせはATOZランゲージセンター西尾まで

